



第6回「諏訪湖まるまるゴミ調査」結果

諏訪湖創生ビジョン推進会議

- 1 調査目的 諏訪湖全域でゴミの調査を行い、「諏訪湖のゴミの現状」を明確化する。得られたデータの集積及び公表により、流域内にお住まい、お勤めの皆様の関心を高めるとともにゴミの発生抑制に繋げていく。
- 2 実施日時 令和7年11月1日（土） 午前8時から概ね50分間
- 3 参加人数 253名（グループ数 38） 諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員、アダプトプログラム登録団体、一般参加者（参加希望者）
- 4 実施エリア 4エリア（別紙のとおり。天候の影響で④エリアは未実施。）

5 調査種類 18種類（飲料ペットボトル、ペットボトルのふた(単体)、レジ袋、肥料袋、カップ型飲料容器、空き缶（アルミ）、空き缶（スチール）、ビン、ストロー、紙くず、ビニール破片、たばこの吸い殻、食品トレー、発砲スチロール、弁当・惣菜などの容器、苗用ポット、プラスチック破片、マスク）
 ※下線はプラスチック製品由来。たばこの吸殻については、フィルター部分が大部分を占めることから、プラスチック製品由来に分類。ビニール破片はお菓子の包装等の軟らかいプラスチック破片。プラスチック破片は硬いプラスチックの破片。

6 調査結果

諏訪湖周のゴミの数量はプラスチック製品由来のものが全体の9割以上を占め、その内の7割以上が小さなビニール片やプラスチック片でした。

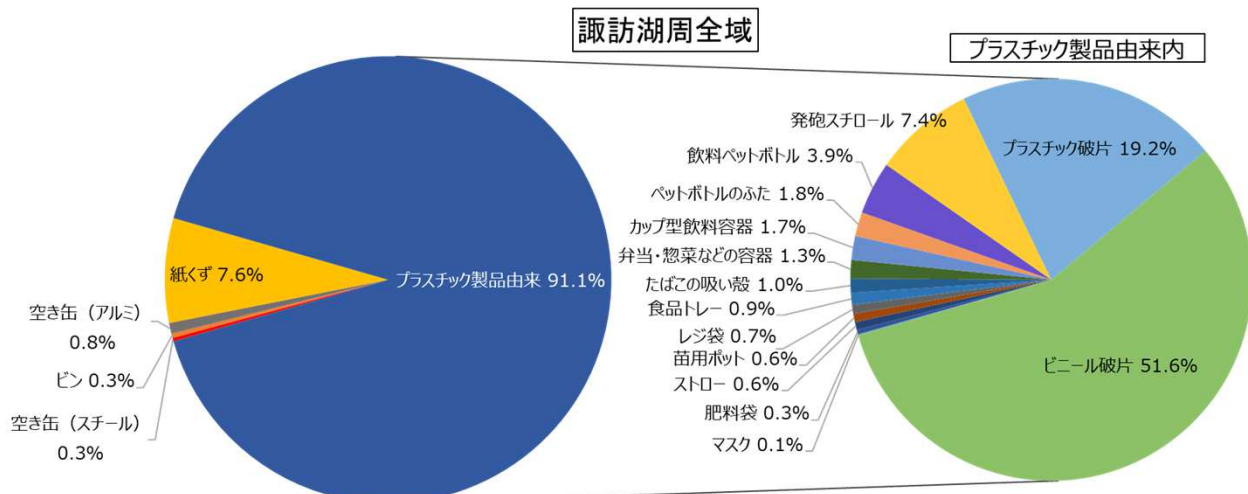
(1) 回収量 諏訪湖周全域で回収したゴミの数と重量は以下のとおりです。

回収量（個）	全種類計：5,040個（内プラスチック製品由来：4,591個）
回収量（kg）	可燃ゴミ：268kg、不燃ゴミ：70kg

種類	エリア	①	②	③	④	⑤	計（全域）
1 飲料ペットボトル		62	112	12	0	9	195
2 ペットボトルのふた		32	42	13	0	2	89
3 レジ袋		16	17	0	0	0	33
4 肥料袋		10	5	1	0	0	16
5 カップ型飲料容器		43	36	9	0	0	88
6 空き缶（アルミ）		10	24	4	0	1	39
7 空き缶（スチール）		4	5	4	0	0	13
8 ビン		9	5	1	0	1	16
9 ストロー		4	21	4	0	0	29
10 紙くず		11	57	306	0	7	381
11 ビニール破片		256	501	1,745	0	98	2,600
12 たばこの吸い殻		23	9	17	0	3	52
13 食品トレー		24	15	5	0	0	44
14 発砲スチロール		137	160	63	0	14	374
15 弁当・惣菜などの容器		21	9	38	0	0	68
16 苗用ポット		6	10	15	0	0	31
17 プラスチック破片		90	455	383	0	40	968
18 マスク		2	1	1	0	0	4
合計		760	1,484	2,621	0	175	5,040
(内)プラスチック製品由来		726	1,393	2,306	0	166	4,591

※網掛けはプラスチック製品由来

(2) 回収割合 諏訪湖周全域の個数の割合を示します。エリアごとの割合は別紙のとおりです。



7 ふりかえり

調査の後、グループごとにふりかえりを行っていただきました。

ごみ拾いで感じたことについて、「小さいプラごみがたくさんあった。見つけづらかった。」「自分でごみを拾ったことによって、どんなゴミが多いのか分かった。」「ごみ拾いで諏訪湖がキレイになるのが心地良い。」「諏訪湖の現状を知れた。」「普通の清掃では気づかないごみがあった。」「自分の身の回りのごみをきれいにすることが飛散防止につながるのでは。」などの意見が寄せられました。

諏訪湖のごみの影響については、「諏訪湖の汚染につながる。」「鳥や魚がごみを食べてしまう。」「諏訪湖のイメージが悪くなる。」などの意見がありました。

ごみはどこからやってきたと思いますかという問いに対しては、「川から流されてきた。」「ポイ捨て。」「家から風に飛ばされてきた。」などの意見がありました。各エリアの主なご意見等は別紙をご覧ください。

8 調査の様子



開会式 (エリア③)



調査とふりかえり



水辺での調査実施中



水辺での調査実施中



9 まとめ

プラスチックは成形しやすく衛生的であることから、身の回りの様々なものに使われています。しかし、紫外線や熱に弱いため、屋外で長く使われたものは劣化により細かくなり、風に飛ばされたり、雨に流され、31本の流入河川を通じて諏訪湖に流れてきています。

家や学校、お店や事業所の周り、さらに街中、農地等にある、劣化が進んだプラスチック等を片付けることで、諏訪湖の細かなごみを減らすことができます。「ごみの無い諏訪湖」、また今世界的に問題となっている海ごみを無くするためには、落ちているごみを拾うだけでなく、家庭や事業所から発生するごみを減らすこと、そしてごみを流出させないことが重要となります。まずは自分のまわりから取り組みをはじめてみませんか。それが、諏訪湖や世界の海の環境を守ることに繋がります。

10 今後

第6回「諏訪湖まるまるゴミ調査」は、過去最多の参加者を迎えて実施しました。参加者の皆さまには多くのごみを回収いただき、諏訪湖の現状把握に役立つ貴重なデータを得ることができました。

今後は、収集したデータを整理・公表し、流域にお住まい・お勤めの方々に関心を持っていただくことで、ごみの発生抑制につなげ、「ごみの無い諏訪湖」の実現を目指していきます。

調査は今後も継続して実施していく予定です。

「諏訪湖まるまるゴミ調査」は、美しい環境づくり諏訪地域推進会議、諏訪湖浄化対策連絡協議会の共催により実施しています。